

令和 6 年 6 月 21 日 議会のあり方調査研究特別委員会 議事録
15時06分 開会

○出席委員 (8 人)

委員長 寺岡 公章

副委員長 末広 天佑

委員 豊川 和也、山代 英資、岡 和明、小出 哲義、小田上尚典、
細川 雅子

議長 北地 範久

○欠席委員 なし

○傍聴者 藤川 和弘、中川 智之、西村 一啓

○寺岡委員長 皆さん、こんにちは。ただいまより議会のあり方調査研究特別委員会を開きます。

今日は何点か確認事項もございますので、まずレジュメの説明からさせていただこうと思います。

日程 1、これまでの取組の効果の確認。活動計画で、定例会、特にテーマ①が終わったばかりですから、6 月入れようということになってますのでさせていただきます。それから、日程 2 が研究テーマ②の選定、これは前回の続きです。日程 3 で、他の委員会でもありましたように、議会報告会に向けての確認。場合によっては、日程 4 の活動計画の見直しもありますが、今月中にもう一度開くようであれば、そのときにさせてもらおうと思います。今日、片がつけば日程 4 もやっておこうかなと思います。

では議事に入ります。日程第 1、これまでの取組の効果の確認ですが、テーマ①で大きくは 3 つ、我々が活動してきたものがあります。1 つが政務活動費の見直し、また、議会だよりを通じての議会の紹介、それから議会中継を各公共施設でやっていただくというところ。それが今どうなってるのかをまず皆さんに御紹介したいと思います。

私が確認しているところでは、報酬審議会につきましては、委員会として議長から執行部に報酬審議会を設置してくださいという要望を出してもらうよう依頼しております。

現在、これを一旦議会の委員会の外、例えば、議会運営委員会でありますとか、議員全員協議会でありますとか、細かいところでは代表者会議であるとか、そういったところで確認をした上で、市長にお願いをしていくという運びになります。その最適な手段を今議長が模索してくださってますので、何か議長から行動があるかと思います。それをもうしばらくお待ちいただければと思います。

続いて、議会だよりへのネタの提供と、あと議会中継ですが、これは事務局、今、進捗はいかがですかね。

どうぞ。

○中村主任主事 私のほうからは、議会だよりへの掲載の依頼のことについて御説明します。

山代チーフと委員長が作っていただいた豆知識の掲載について、広報広聴特別委員会の

委員長宛てに依頼をしておりますので、8月号から掲載する予定となっております。

以上です。

○加藤庶務係長 私の方からは、本会議中継の放送についてです。

大竹市議会の本会議中継についてお願いの文書を議長より担当課に送付しまして、所管の公共施設での中継放送のお願いをしました。また、6月10日の議会運営委員会において正式な議会日程が決まってから、再度、本会議中継の依頼と放送中のシートを担当課に送付しました。全部の施設の確認はできていないんですけども、幾つかの施設につきましては、放送中のシートをテレビの横に置いていただき、本会議中継を放送していただいたと聞いております。

以上です。

○寺岡委員長 これらの件について何か質疑はありますか。問合せ、確認いかがでしょう。

小田上委員。

○小田上委員 本会議の中継なんですけども、特段クレームというか困ったこととかいうものが上がったりはしないですか。

○加藤庶務係長 担当課からは特に聞いておりません。

以上です。

○寺岡委員長 よろしいですかね。

これらのことは、また進捗がありましたらまた新たに報告させていただきたいのと、議会だよりはこれからの話ですし、議会中継も、また皆さんに実際見られた方から何かあるかもしれませんので、一番遅くても来年の3月には全体の振り返りを一度します。それまでに必要であれば適宜情報共有させていただこうかなと思いますので、お知りおきをお願いします。では、日程1についてはこの程度にしたいと思います。

では、日程2研究テーマ②の選定に入りたいと思います。

前回、細川委員から指摘がありました、基本的な考え方が5年後の大竹市議会の姿なのではないかなという御指摘がありまして、委員長としてもそういったつもりで、ワークシートの一番最初の設問に置かせていただいたところです。これをより委員会としての思いにまとめるために、私が考えるではなくて、私たちが考える5年後の大竹市議会の姿、これを8名の委員のものを1つの文書にまとめてきました。基本的には網羅されてるはずですが、削除した言葉とかはあまりありません。まあ重複してるのは別としてですね。日本語をつなげるために言葉尻を変えたりもしてるんですけども、言葉を削ったというところもほとんどないはずですが、足したというのもほとんどありません。ですので、これが私たち委員会の委員が思う市議会の5年後の姿かなと思います。今後これが、あくまで参考にしかないかもしれませんが、こういった姿が5年後、大竹市議会で実現していれば、この委員会の取組は意義があったのかなと思いますので、一応参考までにお配りしておきます。

中身に入っていこうと思います。前回の会議の最後に、いろいろと選定の仕方をどうしましょうかという意見を聞く中で、何にしてももう少し議論をしてもいいんじゃないかという意見もちょうど聞かれました。テーマ候補を減らしていてもいいんじゃないかなと

いう意見も出たのですが。加点方式でいくんであれば議論を深めたいと、何名かの委員から発言がありました。この際、前回の会議以降で、皆さんで委員会でぜひ発言しておきたいことがあれば、先に伺っておきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

本会議始まって一般質問なり議案審査なりあって、なかなかこれだけに集中というわけにもいかなかったかもしれませんが、どうですかね。特に皆さんから発言がありますか。

今の時点ではよろしいですかね。

じゃ、選定にいきたいんですが、6月中旬に何とか決めないといけないかなと思います。委員会を運営する者として、6つのテーマ候補、いずれもこれは要らないというものは結果的にはなかったかなと受け止めてます。もちろん、緊急性などの違いはありますけれども、これはもうテーブルから外していいよというものは、見当たらなかったんじゃないかなと感じました。

そこで、委員長案として、テーマ②の作業工程案という、あくまで案をつくらせていただいています。選挙時期と定数減については、議会の仕組みというところかなと思います。報告会のあり方や議会モニター制度も文字どおり制度で、法制であったり理念であったりすると思います。異色なのが、成り手不足の解消というところですよ。これは将来にわたって、大竹のみならず地方議会が抱えるテーマであろうと。平たく言えば、市政に関して住民の皆さんに関心を持ってもらって、我こそはという方が育っていけるような議会でありましょと、こういった部分であるかなと思います。これは、議会活動、議会改革の活動の土台となるとして、一番下に置かせてもらってます。来年の6月には中間報告のまとめとして、一応また振り返っていく予定にはなろうかと思っています。

残りは、分かりやすいところから言えば、①議会報告会のあり方と⑥議会モニター制度、これらは簡単に言えば、作業でできるんです。制度をつくっていく、改善していくという話ですので、作業でできるんじゃないかと思っています。ですので、この2つで限って言えば、同時進行しながらいけるのではないかなと思います。

そして、これらはこれまでの会議の中で皆さんの意見で出てきたように、市民の方との関わりの中で出てくる意見が⑤基本条例の深掘り、これに反映されていって、議会の課題が発掘されていくんじゃないかと考えています。それは来年の4月ぐらいまで、基本条例の見直しというのは常時我々の手元に置いておいて、議会報告会であったり、モニター制度であったり、そういった市民からヒントをもらったものを加えながら、まとめとして来年の4月あたりに行えればいいかなと思います。必要であれば改正案を遅くとも6月には委員会発議という感じで行うことになるかなと思います。

あと、選挙時期、これは皆さん共通の思いとして手がけるのであれば、もう早々に手がけなければならない。定数減にしても、いつまでも議論だけで終わらすわけにいかない。結論をいずれで出さなければいけないということで、この2つをどのように扱うかというところを7月、1か月かけてやっていこうと思います。

議会報告会とモニター制度、基本条例、これらはさきの2つがある程度、取り扱いの方向性が出たら、入っていくと。仮に、選挙時期や定数減を絶対やろうよということになれば、こっちを先にやりますので全ての工程は覆るものになるんですが。あくまで案ですが、

これまでの皆さんの意見を集約すると、このような流れになるかなと整理させてもらってます。

これについて、質問とかありますか。意見は後で聞きます。質問あれば聞きます。

どうぞ、細川委員。

○細川委員 ⑤基本条例の深堀りなんですけど、最終的には出すあたりが目的になるんですか。それとも、常時探りながら、特段改正案を出すまでもないというケースもあるということですか。

○寺岡委員長 もちろんです。

○細川委員 分かりました。

○寺岡委員長 そのほかはいかがですか。

小田上委員。

○小田上委員 最近いろんな委員会が取組をするのに、時間的な暇もそうなんですけど、先ほどあった特別委員会でも予算面がすごくシビアになってきているかなと思います。取り組むと決めた場合に、モニター制度だったり何をするにしても、費用というのはいずれもかかってくるであろうかと思います。取り組むとしたら、そういうところが可能なのかどうかというところを知っておきたいんですけども。

○寺岡委員長 今のモニター制度でいえば、イメージされるのが、要は謝礼とかそういった部分ですよ。それを8月、9月でどれぐらい必要なものか我々で意見を合わす必要がありますし、それが令和6年度で、そのお金が準備できないということであれば、しかるべきアクションを起こさなきゃいけないでしょうね。それが令和7年度からでいいよとなれば、また違うアプローチも必要になってくるでしょうし。とにかく、それは調査・研究しなければ分からないと思っていただければいいです。

ただ、今、小田上委員がおっしゃられたように、モニター制度の予算とかというのは、ほかの議会報告会とかも含めて意識しながら持つておく必要があるかなと思います。やっぱり、会場費にしても何にしてもお金がかかることですからね。

ほかはいかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 ありがとうございます。質問はないようです。

では、意見はありますか。

○小田上委員 取り組むもののこの優先順位とか意見を出していいということですか。

○寺岡委員長 そうですね。

小田上委員。

○小田上委員 選挙時期、定数減というのは、興味・関心が湧きやすいのかなと思うんですけども、この選挙時期にしても定数減にしても、皆さん日頃の活動の中で市民の方から声を聞くというのはされてると思うんですね。ただ、議会の中を見てもらって考え方が変わったり、分かるからこそ減らしたほうがいい増やしたほうがいいのか、そういう意見が出るんじゃないかと常々思ってます。現場や取組方とかを見ていただいた上でという、順番踏もうと思ったときに、やっぱり報告会、モニター制度というもので足場固めていかない

と、選挙時期にしても定数減にしても、雰囲気だけでやっちゃうことにならないかなと思います。選挙時期も、もちろん首長選と市議会議員選挙が時期が1年ちょっと違うというのがあります。確かに、市民の方も同時のほうがいいのかもしいのですが、そういう意見を個別でもらうんじゃなくて、しっかり議会として意見をもらえる場をつくろうと思ったら、モニター制度、報告会の整理かなと思いました。

以上です。

○寺岡委員長 小田上委員の発言の意図がちょっと最初分からなかったので申し訳ない。もしここで御了解いただけるのであれば、7月中に今のような意見交換を集中してやって、7月の最後の時点で、8月以降も取り組みますかというので決を採らせていただこうと思います。③選挙時期と④定数減の2つについてはですね。そこで審議というか協議が不足にならないように、7月に集中的にこの2つを調査・研究、意見交換していければと思います。

どうぞ、小田上委員。

○小田上委員 大変失礼しました。

個人の考え方、一委員の考え方ですので、皆さんの意見を聞いてそうかなと思うところもあると思います。7月は議会報告会も予定されてますので、この中で新しい取組というよりも、この今出るところの選挙時期、定数減についてしっかり話し合うのがいいのかなと思います。これに集中して話しして、どうするかというのを決めていくのはありだと思います。

○寺岡委員長

ほか何か、作業工程案についての意見が何かありますか。

細川委員。

○細川委員 議会報告会のあり方のところなんですけども、タイミング的に7月が議会報告会ですので、振り返りをするのは8月になると思うんです。この工程というよりは、班長会議でも報告会の振り返りとかすると思うんで、そのすみ分けというか、あの辺りはしっかりしないと、どうなんですか。そこはちょっとよく分からない。

○寺岡委員長 議長、班長会議の御予定いかがお考えでしょう。

○北地議長 当然終わってからですね、皆さんから出た意見の調整とかがありますし、最終的には反省、そういうのも計画はしていきたいと思っております。

○寺岡委員長 細川委員、今お聞きのように、班長会議は班長会議でももちろん実動部隊としてやられるということですので、私たちは、成り手不足の解消を土台とした議会報告会のあり方に関して何か意見をお伝えできればいいかなと思うのですが、どうでしょう。

どうぞ。

○細川委員 もちろん、成り手不足の解消の部分もあるとは思いますが、基本条例から見た報告会のあり方みたいな、ああいう辺りも視点に入れていただければどうかなと思いました。

○寺岡委員長 今は、議会報告会で感じた市民の感触意見というのを基本条例に回していますが、これ双方向の矢印にしてもいいかもしれませんね。ありがとうございます。

そのほか御意見ありますか。

なければ、7月からはこのような動きでさせていただこうと思うんですけど、これまでの皆さんにワークシート記入していただいて、テーマ②の選定に入ってから皆さんの御意見を拾い上げていくと、このスタイルかなと私なりには思ってるんですが、どうでしょうかね。よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 では、実作業が1か月ずれたりするようなことがもしかしたらあるかもしれませんが、まずはこれを目安として持ちながら、委員会活動は進めさせていただこうと思います。

ですので、次回、選挙時期と定数減についてしっかり意見交換ができればと思います。来月2回、3回やる必要あるかなと、これを作成した時点では思ってたんですが。1日に集中してこの日はこれってするか、1時間はこれ、もう1時間はこれとするのと、皆さんどっちがやりやすいですか。

○寺岡委員長 副委員長、どうぞ。

○末広副委員長 選挙時期の実態把握って、多分少し時間がかかるんじゃないかなと思うんです。選挙管理委員会にも確認して。なので、最初に何を調べるかは挙げといたほうがいいんじゃないかなと思って、まあ定数減なんかは今までの情報もありますけど。並行してもいいんじゃないかなと思ったりはしました。

○寺岡委員長 基本的には自分で調べてきてよ。

○末広副委員長 はい。

○寺岡委員長 自分で調べてきたのをこうだこうだって重ねていったら、要る要らないというのを決める判断になると思うんで。

○末広副委員長 少し内容の話なんですけど、選挙時期については予算の削減が絡んでくる話でも多分前から出てると思うんで、その予算の金額の把握は、個別で聞きに行ってるのかって、できなくはないと思うんですけど、委員会としてそれを把握するとなると、そこは最初をお願いしたほうがいいんじゃないかなと思った次第です。

○寺岡委員長 だから、細かいところが決まらないと、情報がないと、これを扱うかどうか決めれないという、そういうことですね。

○末広副委員長 はい。

○寺岡委員長 調べれるところは各自調べてきとってもらわないと、団体の動きになると緩やかになり過ぎてしまいますので。ただ、末広副委員長が言われたように、選挙時期については早々に動き始める必要も、これまでの会議の中でも言ってますから、まずこれは必ず入れたいと思います。

あと、並行してできるんじゃないかという意見でしたが、ほかの皆さんはいかがですか。
小田上委員。

○小田上委員 選挙時期と定数減についての話し合い、1日かけてでもいいのかなと思います。同じタイミングでやっていいと思いますし、行ったり来たりできるほうが進むんじゃないかなと思いました。時期と定数の話を一緒にできたほうがいいのかなと思いました。

○寺岡委員長 ほかどうですか。

どうぞ。

○山代委員 この2つのテーマは、密接とは言わないですけど相互関係が多少ある。どちらかを先にやってしまうと、後からの意見に反映したりとか、あとの意見が前に反映したりとかということもあると思うので、並行でやったほうがいいと思います。

以上です。

○寺岡委員長 どうぞ、末広副委員長。

○末広副委員長 2つを最初がつつりやって、あとはそんなにもう結論を出すのに時間からないんじゃないかなと思ったりはするんですけど。

○寺岡委員長 結論は、先ほど言ったように7月末に、これをテーマとしますかという決を採ろうかなと今のところは思ってます。だから、その決を採るときに、話し足りんよということがないような7月を過ごしたいんですよね。

御意見ほかにどうですか。

小出委員。

○小出委員 私も同時でいいのかなと思います。定数減については、ほぼほぼ意見が同じ方が多いと思いますし、方向性は早めに決まるんじゃないかなと思います。あとは選挙時期についてじっくり議論していけばいいのかなと思ったりもしますので一緒にいいかと。

○寺岡委員長 分かりました。じゃ、同時にやりますか。

では、7月の会議は選挙時期についてと定数減についての2つの項目の、取扱いの結論を出そうかと思しますので、それぞれ準備をしてきてくださいね。プレゼンするときに、自分が主張したいところを、この資料を準備しました、これに基づいてこうこうこうだと思いますとできれば、よりよい議論になるんじゃないかなと思いますので、その辺りは御協力ください。この資料を準備してくださいというのじゃなくて、各自準備してきてもらうのが一番ありがたいかなと思います。

細川委員。

○細川委員 自分が考えて、ちゃんと発表できるようにということなんですけどもね。例えば、選挙時期について、私は変えないほうがいいと思っているということで組み立てていって発表するというところで考えとっていいんでしょうかね。

○寺岡委員長 今考えている7月最初の会議の議題に入ったときの最初の言葉は、「この件をどう扱いましょうか」と伺います。要は、8月以降も話合いを続けたい、いやいや今はいいだろう、なぜならこうだからとしてもらえればありがたいです。

どうぞ。

○細川委員 8月以降も続けるべきだと主張するということは、選挙の時期を変えることが前提なんで、8月以降もっと議論をしてやったらどうかというのと、もう変えないと、このままでいいということであれば、もうこれ以上議論をする必要ないという持っていく方の発表をしたらいいのか。

○寺岡委員長 それでも構いませんよ。発表の仕方、発言の仕方は十人十色ですから、そういったやり方でももちろん構いません。

どうぞ。

○小田上委員 定数と選挙時期のことを扱うとなれば、工程表を見る限り、同時進行は無理なので、モニター制度とか報告会のあり方を考えるとかというのは一旦置いておくということですか。

○寺岡委員長 一旦置いておくことになると思います。

○小田上委員 7月に話し合って、8月以降これに取り組むんだぞというのをどうするか、取り組むのかどうなのかということを決めるということですよ。

○寺岡委員長 そうですね。

今の小田上委員の発言にちょっと付け加えるとすれば、選挙時期、定数減が12月に結論が出たとしたら、1月からはモニター制度とか議会報告会も取り組めるかなとは思いますが。その他、何かありますか。

なければ、次の会議また後ほど日程決めますが、次の会議それなりの準備を皆さんしてきてください。何かとお忙しいと思いますが、定例会も終わりますしよろしく願いいたします。

では、日程2は以上をしたいと思います。

日程3、議会報告会に向けての確認ですが、もうほかの委員会とかでも御案内がいろいろあったと思いますが、議会報告会に向けて、今、班長会議が今日で4回目を迎えています。それで、各委員会からの報告事項などないかという問合せがあった中で、4月22日の班長会議で、我々議会のあり方調査研究特別委員会としては、昨年12月27日に出た意見、議会の仕組みや流れなどを議会報告会でも市民の皆さんにアピールしていきましようという意見が出て、皆さん反対もなく流れてきた経緯があります。それをお伝えさせていただいています。そうすると、班長会議ではいいんじゃないかということで、御理解をいただいておりますので、うちの特別委員会の活動というわけではなく、議会の仕組み、流れというのを市民の皆さんにアピールして、主権者教育の一つとしてつなげていきたいかなと思っています。

じゃ、何をするのかということなんですが。例えば、うちの委員会で山代チーフが中心になって作ってくれた、定例会ごとの流れがあるんですが、これを市民の皆さんにお話しして、今、常任委員会の報告がありましたが、それは委員会での中のやり取りなんですよという説明をできればいいかなと思います。2分ぐらいだと思うんですよ。あまり長々と全部話しても、今回は特に報告会のやり方も変わって時間もないですし、取っかかりとしてまずやろうと思っています。御了解いただけますかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 原稿については、もう私のほうで作らせてもらおうかと思います。報告会の中で市民に向けての話ですので、当時をちょっと思い起こしながら、皆さんの言葉をお借りしながら原稿を作って、班長会議にお示しできればと思うんですが。いいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○寺岡委員長 では、そのようにさせていただきます。よろしくお願いします。

では、日程3はこの程度にしたいと思います。

今日、方向性が決まりましたので、日程4の活動計画の見直しも進めていきたいと思えます。

前回示したものにプラスしてちょっと直したものです。日付が今日の日付に直さないといけません。失礼しました。

先ほど、活動効果の確認を終わらせました。進捗状況も報告しました。活動計画の見直しを今やっているところです。テーマ②の優先テーマ決定が一区切りつきそうです。7月から優先テーマの協議、調査研究に具体的に入っていくと。あとは、これまだなかなか実施されてないところもあるんですが、今後決まってくると参考資料が必要になったりとか、講師も改めて招いたり、我々以外の議員の意見、意識がどうなのかを調査したりと、これも必要に応じてやっていければいいかなと思ってます。

活動計画4について何かありますか。少しずつ変更しながらやっていってますね。

それでは、まあまたこれは適宜定例会ごとに見直して、こういった流れでいくということでお知りおきいただければと思います。

最後に日程を決めておきたいと思えます。

次の開催、7月初旬を考えてたんですが、いかがですか。

○細川委員 すみません、7月の第一週は全部駄目です。

○寺岡委員長 了解です。

じゃ、12日金曜日。

じゃ、12日にしますか。午後からだったら大丈夫。4時までなら大丈夫。

○小出委員 そうですね。15時半ぐらいまでだったら助かります。

○寺岡委員長 どうぞ。

○中村主任事 今話されてる7月12日なんですけども、議長がお昼から要望活動の予定が入っております。

○寺岡委員長 議長、いなくていいです。

1時半から3時半まで2時間じっくりやりますか。

いいですかね。じゃ、決めます。

今回は、7月12日の13時半から15時半の間、選挙時期と定数減についてどのように扱いましょうかというお尋ねをしますので、それぞれまとめておいてください。

では、以上で今日の会議は終わりたいと思えます。

細川委員。

○細川委員 すみません、委員長がまとめてくださった「私たちの5年後」ですよね。ちょっと感動したんですけど、ありがとうございます。これは今後、委員長がまとめてくださっただけで、終わりかというかちょっともったいないなと思って、何かお考えがあるのかをお聞きしたい。

○寺岡委員長 予定はないです。

何か提案して下さったらできますけど。

○細川委員 何かちょっと温めたいなと思まして。

○寺岡委員長 そうですか。じゃ、皆さんよく読んでください。これを作るの結構時間

かかりましたので、よろしくお願いします。

では、以上で今日の会議は終わります。また次回よろしくお願いします。ありがとうございました。

15時47分 閉会